

1. 科目名 (単位数)	韓国の文化と言語 I (2 単位)		3. 科目番号	GECM1315 JNGC1305
2. 授業担当教員	尹 文九			
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	2002年ワールドカップ日韓共催以後、K-POPを始め、韓国ドラマやハングルに対する関心が急速に高まっている。こうしたことを踏まえて、本学でも韓国の大学と協定を結び、また、韓国短期研修も実施している。そのため、本講義ではハングルや韓国に関心がある初心者の学生を対象に基本的なハングルの学びながら、韓国の文化や社会についても学習することを目的にする。講義内容は難しい文法よりは、分かりやすい日常会話、すなわち実用会話を中心に学習する。また、韓国の文化や社会などについても学習し、韓国社会の理解を高めることにする。			
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国社会や文化に対して基本的なことを理解する。 2. ハングルの文字を覚え、韓国語の読み、書きができる。 3. 簡単な日常会話ができる。 4. 韓国語で簡単な自己紹介ができる。 5. 韓国旅行のとき必要な基本的な言葉を覚える。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題1：5回の授業までにハングルの文字を覚える。</p> <p>課題2：最終授業の時までに韓国語で簡単な自己紹介ができるようにする。</p>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 李昌圭『韓国語を学ぼう(初級)』朝日出版社、2015。</p> <p>【参考書】 韓国海外文化広報院『韓国のすべて』海外文化広報院、2011。 金真外『韓国文化化を読む』朝日出版社、2011。 斉藤明美『言葉と文化の日韓比較』世界思想社、2005。</p>			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルの文字を読み、書きができるのか 2. 簡単な会話ができるのか 3. 韓国の文化について理解されているのか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への参加度：40% 2. 課題レポート及び予習ノート：30% 3. 小テスト：30% 			
12. 受講生への メッセージ	<p>始まらないと結果もなし。とりあえず、やってみましょう。</p> <p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。</p> <p>受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加することや発音などの練習のときは大きな声を出すこと。 2) 席は前から男女混合で座ること。 3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をすること。 4) 授業中は私語、居眠りまた途中入出をしないこと(正当な理由以外は減点の対象になる)。 5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守すること。 6) グループ討議にはメンバー全員が積極的に参加することと他人が発表するときにはきちんと傾聴すること 			
13. オフィスアワー	授業中に通知する(時間割表掲載のオフィスアワー欄参照)			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 授業概要についてシラバスを中心に説明する	事前学習	シラバス確認および学習用ノートを準備し講義へ臨むこと。	
		事後学習	韓国社会について理解したことをまとめる。	
第2回	韓国文化の理解－ハングルの特徴と構成－	事前学習	pp. 2～9を熟読し、ハングルの特徴と構成を理解する。	
		事後学習	授業で理解した内容をノートにまとめる。	
第3回	基本母音と子音(文字と発音)	事前学習	pp. 10～17の基本母音と子音を10回ずつノートに記入。	
		事後学習	基本母音と子音の理解を確認。	
第4回	合成母音と子音(文字と発音)	事前学習	pp. 18～27の合成母音と終声子音を10回ずつノートに記入。	
		事後学習	合成母音と終声子音の理解を確認。	
第5回	パッチムと韓国文化の理解：DVD	事前学習	韓国文化の特徴についてノートにまとめる。	
		事後学習	韓国文化について理解した内容をまとめる。	
第6回	初めてのあいさつ(名前と職業)	事前学習	母音と子音を覚えて授業に臨む。	
		事後学習	授業で練習した会話の内容を覚える。	
第7回	指示代名詞を利用した会話練習(物と場所)	事前学習	p. 40、p. 48の新出単語を10回ずつノートに記入。	
		事後学習	授業で練習した会話の基本内容を覚える。	

第 8 回	三人称代名詞を利用した会話の練習	事前学習	p. 56 の新出単語を 10 回ずつノートに記入。
		事後学習	p. 40、p. 48、p. 56 の単語確認。
第 9 回	家族文化と家族の呼び方	事前学習	p. 61 を参考し、自分の家族関係についてノートに記入。
		事後学習	授業で学習した言葉を覚える。
第 10 回	位置関係の言葉を利用した会話練習	事前学習	p. 64 の新出単語を 10 回ずつノートに記入。
		事後学習	授業で学んだ言葉を覚える。
第 11 回	N+をしますかを利用した会話の練習	事前学習	p. 72 の新出単語を 10 回ずつノートに記入。
		事後学習	pp. 79～80 の活用練習の答えを書く。
第 12 回	N+に／へ行きますか(時間関係の言葉を利用した会話の練習)	事前学習	p. 82 の新出単語を 10 回ずつノートに記入
		事後学習	p. 84 の時間と曜日関係の言葉の覚え
第 13 回	漢数詞と電話番号	事前学習	p. 100 の新出単語と p. 102 の漢数詞を 10 回ずつノートに記入。
		事後学習	漢数詞を覚える。
第 14 回	これはいくらですか、買い物に関する会話の練習	事前学習	p. 116 の新出単語を 10 回ずつノートに記入。
		事後学習	買い物に関する基本的な会話の内容を覚える。
第 15 回	全体まとめ	事前学習	ハングルで自己紹介をノートに書いて授業に臨むこと。
		事後学習	自己紹介を自分で話す練習をする。
期末試験			